



報道関係者各位

2025 年 4 月 14 日（月）  
NPO 法人日本ブラインドサッカー協会

## 体験型ダイバーシティ教育プログラム「スポ育。」2024 年度集計 12,881 人が体験し、累計体験者数が 21 万 6 千人を突破！

NPO 法人日本ブラインドサッカー協会（以下、JBFA）は、小・中・高校生を対象とした体験型授業「スポ育」の 2024 年度（2024 年 4 月～2025 年 3 月）分の集計を終え、363 件、12,881 人が参加したことをお知らせします。参加者数は 2010 年のプログラム提供開始から累計で 21 万人を超え、2025 年 3 月末までに 5,576 件、216,678 人が体験しました。またスポ育は、対面実施が困難な場合にオンラインでも開催しており、1 人でも多くの児童に本プログラムを体験いただける工夫をしています。

### ●「スポ育」とは

パラリンピック競技であるブラインドサッカーの要素を用いた、体験型ダイバーシティ（多様性）教育プログラムです。1 件あたり 90 分を基本とし、子どもたち全員が視覚に障がいのあるブラインドサッカー選手と触れ合いながら、視覚をアイマスクで閉じた状態でさまざまなワークを行います。子どもたちに障がい者への理解促進や、コミュニケーションの重要性、チームワークの大切さ等の学びを提供しています。



JBFA は 2022 年 10 月より、ブラインドサッカーチーム「ツエーゲン金沢 BFC」の活動支援を行っている、株式会社石川ツエーゲンと金沢市内におけるスポ育実施の業務委託契約を締結しており、2024 年度の実施数は 12 件（385 人）となりました。2024 年 6 月には、広島で 6 つの障がい者サッカーチームを運営しているクラブ、アフィーレ広島と「モデルケース創出パートナー」を締結し、広島県内でもスポ育を実施しました。また、スポ育パートナーである参天製薬株式会社と連携し、参天製薬株式会社の社員が、選手やファシリテーターを務めるスポ育の実施数は 49 件（1,689 人）となりました。

「スポ育」は、スポ育パートナー企業のサポートにより原則無料で実施しています。2024 年度の「スポ育」活動実績、過去実施件数、体験者数の推移および体験者の声は 2 ページ目以降に記載しています。

JBFA はスポ育パートナー企業とともに、一人でも多くの子どもたちにスポ育プログラムを提供できるよう、国内外、地域を問わず、今後も積極的に本プログラムの普及に取り組んでまいります。

### ●体験型ダイバーシティ教育プログラム「スポ育」申込概要

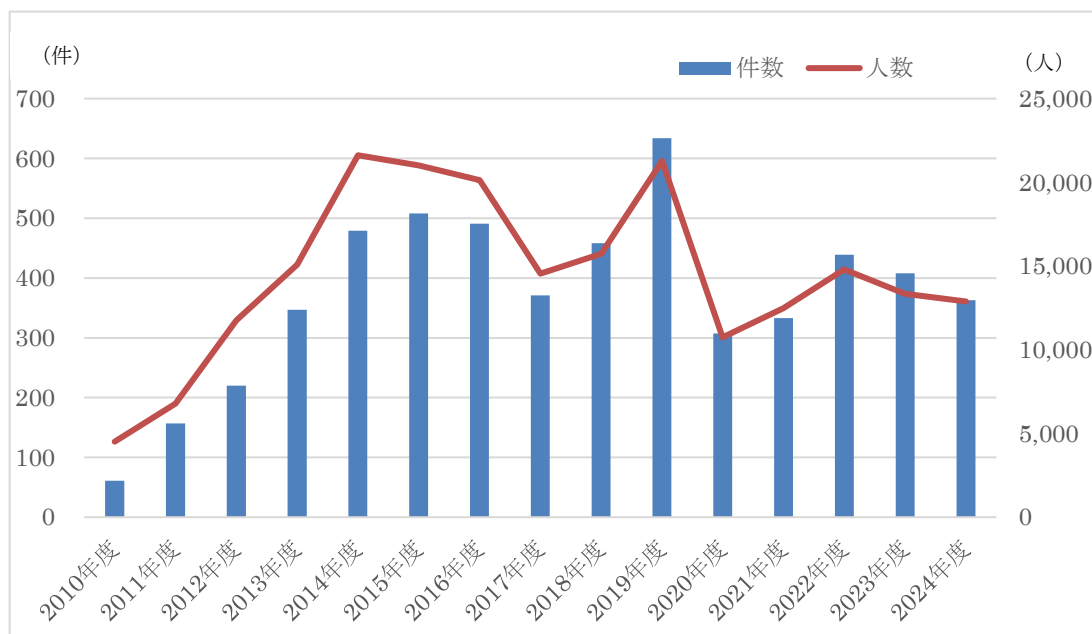
- ・内容：体験型ダイバーシティ教育プログラム（事前学習、体験学習、事後学習）
- ・実施地域：全国（海外はオンライン開催のみ）
- ・対象：小学校 4 年生～高校 3 年生までの学校またはスポーツ団体 ※小学 3 年生は 9 月から実施可能

・プログラム詳細およびお申し込み：<https://supoiku.b-soccer.jp/>

※今後開催分のお申込み受付は、4 月下旬ごろに上記スポ育 HP に掲載予定です。

<スポ育実施件数および体験者数の推移>

| 期間              | 年度     | 件数    | 人数      |
|-----------------|--------|-------|---------|
| 2010年9月～2011年3月 | 2010年度 | 61    | 4,509   |
| 2011年4月～2012年3月 | 2011年度 | 157   | 6,782   |
| 2012年4月～2013年3月 | 2012年度 | 220   | 11,754  |
| 2013年4月～2014年3月 | 2013年度 | 347   | 15,081  |
| 2014年4月～2015年3月 | 2014年度 | 479   | 21,617  |
| 2015年4月～2016年3月 | 2015年度 | 508   | 21,008  |
| 2016年4月～2017年3月 | 2016年度 | 491   | 20,130  |
| 2017年4月～2018年3月 | 2017年度 | 371   | 14,549  |
| 2018年4月～2019年3月 | 2018年度 | 458   | 15,736  |
| 2019年4月～2020年3月 | 2019年度 | 634   | 21,272  |
| 2020年4月～2021年3月 | 2020年度 | 307   | 10,736  |
| 2021年4月～2022年3月 | 2021年度 | 333   | 12,488  |
| 2022年4月～2023年3月 | 2022年度 | 439   | 14,788  |
| 2023年4月～2024年3月 | 2023年度 | 408   | 13,347  |
| 2024年4月～2025年3月 | 2024年度 | 363   | 12,881  |
| 累計              |        | 5,576 | 216,678 |



<コンテンツ別>

|              | 単位 | コマ  | 人      |
|--------------|----|-----|--------|
| プログラム        |    | 件数  | 受講人数   |
| スポ育・対面体験型    |    | 352 | 11,712 |
| スポ育・オンライン座学型 |    | 11  | 1,169  |
| 総計           |    | 363 | 12,881 |

2024 年度の「スポ育」活動実績  
 <月別>

|       | 単位  | コマ  | 人      |
|-------|-----|-----|--------|
| 年     | 月   | 件数  | 受講人数   |
| 2024年 | 4月  | 15  | 493    |
|       | 5月  | 25  | 804    |
|       | 6月  | 47  | 1,699  |
|       | 7月  | 30  | 897    |
|       | 8月  | 8   | 235    |
|       | 9月  | 42  | 1,436  |
|       | 10月 | 44  | 1,529  |
|       | 11月 | 39  | 1,309  |
|       | 12月 | 31  | 1,393  |
| 2025年 | 1月  | 43  | 1,659  |
|       | 2月  | 31  | 1,136  |
|       | 3月  | 8   | 291    |
| 総計    |     | 363 | 12,881 |

<学年別>

| 単位     | 人      |
|--------|--------|
| 学年     | 受講人数   |
| 小学3年   | 689    |
| 小学4年   | 6,116  |
| 小学5年   | 1,412  |
| 小学6年   | 877    |
| 全校生徒   | 10     |
| 中学1年   | 1,045  |
| 中学2年   | 2,390  |
| 中学3年   | 183    |
| 高校1年   | 46     |
| 高校2年   | 10     |
| 特別支援学級 | 103    |
| 総計     | 12,881 |

<地域別>

|      | 単位    | コマ | 人     |
|------|-------|----|-------|
| 都道府県 | 市区町村  | 件数 | 受講人数  |
| 青森県  | 弘前市   | 2  | 66    |
| 茨城県  | 守谷市   | 2  | 58    |
| 埼玉県  | さいたま市 | 5  | 317   |
| 神奈川県 | 横浜市   | 24 | 942   |
|      | 海老名市  | 3  | 93    |
|      | 川崎市   | 7  | 336   |
|      | 相模原市  | 1  | 50    |
|      | 平塚市   | 1  | 146   |
| 千葉県  | 夷隅郡   | 1  | 32    |
|      | 印西市   | 6  | 183   |
|      | 君津市   | 2  | 63    |
|      | 市原市   | 1  | 29    |
|      | 成田市   | 4  | 153   |
|      | 木更津市  | 2  | 45    |
| 東京都  | 稲城市   | 2  | 68    |
|      | 葛飾区   | 19 | 546   |
|      | 江戸川区  | 3  | 147   |
|      | 江東区   | 4  | 191   |
|      | 港区    | 2  | 107   |
|      | 小平市   | 3  | 236   |
|      | 新宿区   | 32 | 1,012 |
|      | 世田谷区  | 5  | 233   |
|      | 清瀬市   | 3  | 84    |
|      | 西多摩郡  | 1  | 55    |
|      | 大田区   | 5  | 141   |
|      | 中野区   | 6  | 291   |
|      | 町田市   | 7  | 256   |
|      | 調布市   | 33 | 1,036 |
|      | 品川区   | 55 | 1,863 |
|      | 文京区   | 57 | 1,746 |
|      | 墨田区   | 3  | 82    |
|      | 目黒区   | 6  | 213   |
|      | 立川市   | 4  | 108   |
|      | 練馬区   | 6  | 183   |

|      | 単位     | コマ  | 人      |
|------|--------|-----|--------|
| 都道府県 | 市区町村   | 件数  | 受講人数   |
| 栃木県  | 那須塩原市  | 6   | 197    |
| 静岡県  | 三島市    | 5   | 146    |
|      | 磐田市    | 5   | 195    |
| 石川県  | 金沢市    | 12  | 385    |
| 愛知県  | 名古屋市   | 1   | 46     |
| 大阪府  | 大阪市    | 4   | 139    |
|      | 富田林市   | 3   | 190    |
| 兵庫県  | 赤穂郡上郡町 | 2   | 96     |
| 広島県  | 広島市    | 5   | 286    |
|      | 廿日市市   | 2   | 43     |
|      | 府中市    | 1   | 47     |
| 総計   |        | 363 | 12,881 |

●スポーツ参加者、先生からの感想

今日は自分達にブラインドサッカーを教えて頂きありがとうございます。目隠ししてサッカーをするのは音でしかわからなかったのも、とても難しいことがわかりました。でも、普段と違って声かけとコミュニケーションをとりながらだったので、協力する大切さを改めて実感しました。

ブラインドサッカーのことをまったく知らなかったのも、よく知れて楽しむことができたので良かったです。

<東京都中1>

今日のブラインド教室は視覚しょうがい者のイメージが、見え方が人それぞれだということに変わりました。

一番大切だと思ったことは相手の気持ちを考えて気をつかってあげながらも声をかけてあげたりすることだと思いました。

障がいがある人といっしょにブラインドサッカーをいっしょしてやったり友だちをさそってあげたいです。

これからブラインドサッカーを頑張ってください。心のそこからおうえんをしています。

＜静岡県小 4＞

今回の体験を通して、私は、1つの「目標」を決めることができました。

それは「自分も人のためになる事をする」ことです。選手の方とガイドの方がおっしゃっていた「ブラインドサッカーは助け合いのスポーツ」という言葉が心に残りました。

「ガイドさんは選手のために、選手の方はガイドさんや応援してくれた人のためにがんばる。」これってすごくすてきなあとと思ったので、私も「助け合える人のためになる事」をできるように努力します。

選手の方、ガイドの方も頑張ってください！

＜神奈川県中 1＞

ブラインドサッカーに触れるだけでなく、障害への理解や障害があってもなくても他の人とともに生きているということは変わらないという人間的な部分にも触れていただいたこと。プログラムごとの時間配分等もちょうどよかった。

＜石川県小学校教諭＞

事前学習で見た動画の選手が、実際に教えに来てくださって、子ども達も喜んでいました。また、ファシリテーターの方も教えるのが上手で子ども達もしっかり話を聞いて安全に学習することができました。2単位時間の学習があつという間に感じました。

＜広島県小学校教諭＞

分かりやすい指示で子どもたちを動かさせていただいていたこと。無理のない活動でどの子ども楽しみながらできたこと、ゲーム性も取り入れていただいていたので、最後まで集中してできたこと。

そして、何より障がい理解という視点と相手を思いやるコミュニケーション力に視点をおかれた学びも感動。押し付けにならず自然に学べるというところがすばらしかったです。

＜神奈川県小学校教諭＞

## ●「おも活」事業との連携

JBFA では 2010 年 9 月からスポ育を開始し、2015 年秋からは公益財団法人日本ケアフィット共育機構と事業提携し、「おも活」（おもいやり活動の略）も実施しています。「おも活」とは、学習指導要領にも述べられている、心のバリアフリーに欠かすことのできない、“障害の社会モデル”の考えを学ぶ授業です。

身近な生活から社会の困りごとについて考え、「環境が作り出す困りごと」と「相手の立場」という両面から気づき、考え、行動する好循環を促しています。

一社会が作り出している障害と、それを解消するためにはどうすればいいのかを、人の多様性を知りながら自ら考え気づく、そしてお手伝いが必要であればお声がけをして、おもいやりの気持ちを行動に移す一

自分たちにもできることがあると知ることで、子どもたちの自主性を促すプログラムで、小学校のほか、クラブチームや学童で行う学習としても実施しても効果的です。2024 年度はスポ育を実施した学校・スポーツのクラブチーム向けに、3 件（184 名受講）実施しました。

### ●公益財団法人日本ケアフィット共育機構について

日本ケアフィット共育機構は、超高齢社会の到来をふまえ、誰もが安心して暮らせる共生社会を目指し、高齢者や障害者を含むあらゆる人々が安心して外出できる社会を目指して活動しています。主に、人の多様性を受け入れ、違いを尊重したり、相手の立場になって考え行動ができる『サービス介助士』の普及を行っています。近年はブラインドサッカーや車いすバスケットなどパラスポーツ大会において、年齢や障害の有無に関わらずスポーツの感動を共有できるよう、介助ボランティアとしての活動も推進しています。

公益財団法人 日本ケアフィット共育機構 <https://www.carefit.org>

サービス介助士 <https://www.carefit.org/carefit/>

### 本件に関するお問い合わせ

NPO 法人日本ブラインドサッカー協会 広報コミュニケーション室

E-mail: [media@b-soccer.jp](mailto:media@b-soccer.jp) 電話番号：03-6908-8907

協会ウェブサイト：<https://www.b-soccer.jp>

住所：〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27 ペアーズビル 3 階